

作成日：西暦 2024 年 5 月 9 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：肺癌の Radiomics における ^{18}F -FDG PET 画像再構成法が EGFR 遺伝子変異予測性能に与える影響

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

2020 年 4 月～2024 年 4 月に藤田医科大学病院で肺がんを疑われ ^{18}F -FDG PET/CT 検査という、病気を早期に発見したり、病気の広がりを調べるための検査を受けた方

2. 研究目的・方法・研究期間

^{18}F -FDG PET/CT 検査は、肺がんの診断に重要な役割を果たしています。最近では、免疫療法という治療法の登場で、 ^{18}F -FDG PET/CT の役割は治療効果の予測などにも広がりつつあります。 ^{18}F -FDG PET/CT 検査の画質は、画像再構成方法に大きく影響を受けます。最新の PET/CT 装置では人工知能を使用した画像再構成法も登場しています。そこで、本研究では、最新の画像再構成法を利用した ^{18}F -FDG PET/CT 画像を使用することで、肺がんの診断や治療法の効果予測などにどのような影響があるか調査します。

研究期間：倫理委員会承認後～2026 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究では、対象となる患者さんの診断名や PET/CT 画像などを個人が特定できないようにして使用します。また、これらの資料・情報は、個人が特定できない状態にされた後、藤田医科大学医療科学部椎葉研究室のコンピュータで厳重に保管・管理します。

情報：年齢、性別、体重、診断名、遺伝子情報 等

試料： ^{18}F -FDG PET/CT 画像

管理責任者：藤田医科大学 医療科学部 臨床教育連携ユニット 准教授 椎葉拓郎

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5 . 研究組織

研究責任者：藤田医科大学 医療科学部 臨床教育連携ユニット 准教授 椎葉拓郎

研究分担者：藤田医科大学病院 放射線部 係長 渡邊公憲

6 . 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 医療科学部臨床教育連携ユニット分子イメージング学分野

担当者：椎葉拓郎

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98

電話 0562-93-9020

e-mail: takuro.shiiba@fujita-hu.ac.jp

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。